

# 巡回展 Part2 移民と和歌山 2017

## 和歌山からブラジルへ 100年の時を経て

1908（明治41）年6月18日、781人の契約移民を乗せた笠戸丸がサントスに入港し、日本からブラジルへの集団移住がはじまりました。2008年、日本とブラジルの交流は100周年を迎えています。和歌山県からも多くの人々が、ブラジルで新たな生活を切り開こうという決意を持って渡航しました。初期移民の時代から100年の時を経て、本年10月、サンパウロではブラジル和歌山県人会が主催して100周年を祝う式典が開催されます。

この記念すべき年、紀州経済史文化史研究所では、さまざまな機関・団体と協力し、巡回展「移民と和歌山 2017 ―和歌山からブラジルへ 100年の時を経て―」を開催します。2017年10月から2018年2月にかけて、3か所をめぐる予定です。ブラジル移住者の足跡をたどり、これまでの100年から現在へ、そして未来へつなげる100年を考えることをテーマとします。

写真：神戸・海外移住と文化の交流センターに咲くイペー（ブラジルの国花）

提供：一般財団法人日伯協会

【日時】開催期間：11月15日（水）～ 11月23日（木）

【会場】Part2：田辺市立図書館

開館時間：火～土曜日 9:30～19:30 日曜・祝日 9:30～18:00

閉館日：月曜日・毎月第4木曜日（祝日と重なった場合はその翌日）

◎11月23日（木）14:00～16:30 ミュージアムトーク&シンポジウム

主催：和歌山大学 地域活性化総合センター 紀州経済史文化史研究所

共催：（公財）和歌山県国際交流協会 / 和歌山県中南米交流協会

後援：田辺市 / 田辺市教育委員会 / 和歌山県立図書館

協力：JICA 横浜 海外移住資料館 / 和歌山大学 南紀熊野サテライト

※ その他の巡回展やミュージアムトークなどの詳細は、和歌山大学 紀州経済史文化史研究所のホームページで順次ご案内します。<http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/>